

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		渋沢栄一関連施設活用事業		担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	6203
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等					
	小項目	2	郷土の歴史・文化の継承と活用						
	主要プロジェクト	5	魅力発信！知って見て好きになるふかやプロジェクト						
事業概要		渋沢栄一記念館や中の家に渋沢栄一翁アンドロイドを設置し、渋沢栄一関連施設への誘客を図るとともに、関連施設を回遊させることで、市内の産業振興に資する事業。							
目的 ※何のために		関連施設を回遊させて市内の産業振興に資するため。							
対象 ※誰・何を対象に		市内を訪れる観光客							
手段 ※どのように		渋沢栄一翁アンドロイドの設置や、関連施設の回遊策を実施する。							
成果 ※何を求めるか		渋沢栄一関連施設への誘客を図り、市内を訪れるかたを増加させる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・関連施設間の回遊策の研究・実施				・			
		・アンドロイドの制作・設置				・			
		・文化振興課との連絡調整				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.30	0.50	0.00
	人件費相当試算※	0	0	0	2,440,800	3,880,958	0
総事業費試算		0	0	0	2,440,800	3,880,958	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	栄一ゆかり関連施設の回遊策 イベントの実施件数	目標値	件	0	0	0	4	4	4	
		実績値		0	0	0	2	4	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		四半期に1回イベントを行う。 / イベント実施件数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	渋沢栄一記念館及び中の家の 来場者数	目標値	人	0	0	0	120	120	120	
		実績値		0	0	0	137.12	381.52	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		1か月に1万人を目標とする。／記念館と中の家の年間来場者数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷駅から洪沢栄一関連施設をめぐるハイキングコースの設置や街なか回遊のイベントなどを行い目標値を達成したため、Aとする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	大河ドラマの放送の影響もあり、コロナ禍ではあったが大幅に来場者が増加したため、Aとする。
			評価者 洪沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	民間との事業協力により循環バスの運行を実施するなど、コスト面での効率性が向上したため、Aとする。
			評価者 洪沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナウイルスの状況を見ながら可能な範囲で回遊策を実施するとともに、中の家の改修を通じて渋沢栄一翁アンドロイドの活用を図っていく。
達成状況及び その効果	新型コロナウイルスの感染リスクが比較的少ない屋外のイベントによる回遊策を実施した。アンドロイドの活用については渋沢栄一記念館と調整を図りながら進めていく。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	渋沢栄一関連施設活用事業	担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	6203
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 渋沢栄一政策推進課長 塚越 稔					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	花園IC拠点と論語の里、深谷駅を結ぶ回遊策を検討・実施する。また、既存移動手段との連携を検討する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	中の家の渋沢栄一翁アンドロイドの活用や、一万円札の流通を見据えたプロモーション活動に取り組む。

8. 評価指標グラフ

